

田尻だより

平成 18 年

9月 号

Vol. 42

次回「田尻便り」は
10月発行予定!

7月の天候不良とは
打って変わっての残暑
が続いています。

農家にとつて、夏の
高温はありがたいので
すが、7月末の低温が
今になって新たな問題
を引き起こしています。

毎年、天候はどこか
おかしくて、「普通の
夏」はどこかへ行つて
しまったかのように

です。
雁音ではこの秋、トビの
調直も行ってのどかか、
個体数が少なく、なかなか
写真にとれないのがこの
ヤマアカネ。縁紋は
糸い帯
近年激減して
いるらしい。
羽の先の小さな
縁紋があざやかで、
最も美しいアガヒと言われています。



「割れモミと斑点米」
今年^{7月8月}は^{初夏}低温・高温・^{7月初旬}高温・^{金以降}低温の
波が激しい年でした。

暑くても、稲にとつて
大切な時期に高温にな
らなければ意味がなく、
その意味では今年はと
ても微妙な夏でした。

特に7月末は稲のモ
ミが作られる時期で、
この時期に低温に当た
つたために、今年^{7月初旬}は稲
のモミが小さく形成さ
れてしまいました。そ
の後、急速な天候の回

復により、モミの中
のお米はほとんど成長し
ています。天候が回復
すればするほど米粒は
大きくなつてモミのサ
イズに合わなくなり、
ついにはモミが割れて
しまいます。

割れモミが多発する
と、割れたモミから漏
れ出すお米の匂いにカ
メ虫が誘引され、次々
とお米を加害してい
きます。今年はどうして

も斑点米の多い年とな
りそうです…。

近頃の温帯地で
ミヤマアカネを
とくう時に限って
ばいっくばって携帯で撮影。



米 曆 ~こめごよみ~

- 8月15日 出穂始め
- 8月20日 「生き物と稲作の勉強会」を行いました。
- 8月22日 出穂揃い
- 8月24日 生き物調査をしまし
~25日 た。

田んぼでは、いもち病の発生は落ち着きました
が、カメ虫の発生が見られるようになってしま
いました。クモやカエルたちに、何とか頑張
ってほしいものです。

嫁日記

8月20日、農家の皆で集ま
って勉強会を行いました。
講師として東北大学の伊藤
先生と古川農業試験場の小
山先生にお話を頂きました。

単純に「安全な食べ物を作
りたいから無農薬で作る」
ではなく、農家一人ひと
りが田んぼの仕組みや生き物

のあり方についてきちんと
理解して、地域全体の農家
で取り組んでいかなければ、
本当の意味での環境保全や
資源循環は実現できません。
だからこそ勉強会です。

参加した多くの農家から、
また勉強会を開いてほしい
との意欲的な意見をもらい
ました。とても嬉しく、充
実した一日でした。

絵と文 / 小野寺ひかる